

1. 科目名（単位 数）	高齢者介護論Ⅱ（2単位）	3. 科目番号	SNMP2111
2. 授業担当教員	岡田 稔		
4. 授業形態	講義 グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	原則、高齢者介護論Ⅰを履修済みであること		
7. 講義概要	様々な状態における高齢者の生活に視点をあて、事例を通して区分：「人間と社会」「こころとからだのしくみ」で学習したことを具体的に反復しながら、生活支援を行う上で必要な考え方や支援の視点について習得できるよう授業を展開する。		
8. 学習目標	以下について理解し、援助の方向性が見出せるようにする。 1.介護を必要とする高齢者について説明できる。 2.介護を必要とする高齢者の生活の実際が説明できる。 3.介護における介護福祉士の役割と支援の視点及び方法について説明ができる。 4.尊厳を支える高齢者の介護が理解でき、説明できる。 5.自立に向けた高齢者の介護が理解でき、説明ができる。 6.虚弱高齢者に対する介護が理解でき、説明ができる。 7.寝たきり高齢者に対する介護が理解でき、説明ができる。 8.認知・知覚機能が低下した高齢者の介護が理解でき、説明ができる。 9.様々な状態の高齢者の介護と地域との連携について説明ができる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	「14. 授業展開及び授業内容」に示した通り、授業で学習した内容についてレポート作成をして提出する。 ①第2回「介護を必要とする高齢者の生活」について ②第7回「虚弱高齢者の生活と介護」について ③第9回「寝たきり高齢者の生活と介護」 ④第12回「認知・知覚機能が低下している高齢者の生活と介護」 ⑤第15回「その他の高齢者における機能低下について理解」		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】介護概論で使用了『介護の基本Ⅰ・Ⅱ』を使用するため、新たに購入する必要はありません。 【参考書】授業の中で、適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 介護を必要とする高齢者について説明でき、高齢者の生活の実際が説明できる。 2. 尊厳を支える高齢者の介護、自立に向けた高齢者の介護が理解でき、説明ができる。 3. 虚弱高齢者、寝たきり高齢者に対する介護が理解でき、説明ができる。 4. 認知・知覚機能が低下した高齢者の介護が理解でき、説明ができる。 5. 様々な状態の高齢者の介護と地域との連携について説明ができる。 ○評定の方法 〔レポート 授業への積極的参加度、を総合的に評価する〕 1. レポート 70％ 2. 授業態度 30％		
12. 受講生への メッセージ	高齢者介護論Ⅰを基に実践的な支援が行なえるよう事例を検討しながら、学んでいくので積極的な発言をしながら学習してもらいたい。また、領域：「こころとからだのしくみ」と「人間と社会」で学んだことを常に振り返りながら学習してもらいたい		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義の概要説明と進め方について テーマ「介護を必要とする高齢者」 本科目の説明と進め方について、「心身機能・身体構造」を理解するとともに、介護を必要とする高齢者がどのような状況であるかを理解する。小テストを行なう。	事前学習	シラバスをよく読み、本科目の内容を理解する。高齢者介護論Ⅰの内容を振り返る
		事後学習	要介護高齢者の状況を整理する
第2回	テーマ「介護を必要とする高齢者の生活」 介護を必要とする高齢者の生活の個別性・その人らしさについて、高齢者の生活様式、習慣、価値観の多様性について理解しながら、介護福祉士として関わる視点を学ぶ。授業の内容を授業内でミニレポートにまとめ提出する。	事前学習	要介護高齢者の生活を考える
		事後学習	要介護高齢者の生活を支える専門職としての視点を整理する
第3回	テーマ「尊厳を支える高齢者の介護」 事例を通して尊厳を支える高齢者の介護を理解する。事例について具体的に尊厳について検討し、自分でまとめ発表する。	事前学習	示された事例を熟読する
		事後学習	尊厳を支える高齢者の介護について整理する
第4回	テーマ「自立に向けた高齢者の介護」 事例を通して自立に向けた高齢者の介護を理解する。事例について具体的に自立についてグループで話し合い、まとめを発表する。	事前学習	示された事例を熟読する
		事後学習	自立に向けた高齢者の介護について整理する
第5回	テーマ「地域の連携」 事例を通して介護を必要とする高齢者とその家族、地域	事前学習	示された事例を熟読する
		事後学習	地域の連携の必要性について整理する

	の連携を理解する。様々な連携が必要な場면을提示して、どのような連携が必要であるか具体的に考えて発表する。		
第 6 回	テーマ「虚弱高齢者」 「こころとからだのしくみ」の理解を踏まえた上で虚弱高齢者を理解する。虚弱高齢者の特性を踏まえた上で、必要な支援及び介護を理解について理解する。	事前学習	虚弱高齢者とはどのような高齢者であるか考える
		事後学習	虚弱高齢者に必要な支援・介護について整理する
第 7 回	テーマ「虚弱高齢者の生活と介護」 QOL、価値観、生活習慣を尊重し、虚弱高齢者の生活を理解する。事例を通して虚弱高齢者の介護のあり方を理解する。授業の内容を授業内でミニレポートにまとめ提出する。	事前学習	虚弱高齢者の生活について考える
		事後学習	虚弱高齢者の生活に対する介護について整理する
第 8 回	テーマ「寝たきり高齢者」 「こころとからだのしくみ」の理解を踏まえた上で寝たきり高齢者を理解する。	事前学習	寝たきり高齢者とはどのような高齢者であるか考える
		事後学習	寝たきり高齢者に必要な支援・介護について整理する
第 9 回	テーマ「寝たきり高齢者の生活と介護」 QOL、価値観、生活習慣を尊重し、寝たきり高齢者の生活を理解する。事例を通して寝たきり高齢者の介護のあり方を理解する。授業の内容を授業内でミニレポートにまとめ提出する。	事前学習	寝たきり高齢者の生活について考える
		事後学習	寝たきり高齢者の生活に対する介護について整理する
第 10 回	テーマ「認知・知覚機能が低下している高齢者」 「こころとからだのしくみ」の理解を踏まえて上で、認知・知覚機能が低下している高齢者を理解する。	事前学習	認知・知覚機能が低下している高齢者とはどのような高齢者であるか考える
		事後学習	認知・知覚機能が低下している高齢者に必要な支援・介護について整理する
第 11 回	テーマ「認知・知覚機能が低下している高齢者の生活と介護」① QOL、価値観、生活習慣を尊重し、認知・知覚機能が低下している高齢者の生活を理解する。事例を通して認知・知覚機能が低下している高齢者の介護のあり方を理解する。	事前学習	認知・知覚機能が低下している高齢者の生活について考える
		事後学習	認知・知覚機能が低下している高齢者の生活について整理する
第 12 回	テーマ「認知・知覚機能が低下している高齢者の生活と介護」② QOL、価値観、生活習慣を尊重し、認知・知覚機能が低下している高齢者の生活を理解する。事例を通して認知・知覚機能が低下している高齢者の介護のあり方を理解する。授業の内容を授業内でミニレポートにまとめ提出する。	事前学習	前回の授業を振り返る
		事後学習	認知・知覚機能が低下している高齢者の生活に対する介護について整理する
第 13 回	テーマ「認知・知覚機能が低下している高齢者を支える社会環境」 認知・知覚機能が低下している高齢者及び、その家族を支える社会環境を理解する。	事前学習	認知・知覚機能が低下している高齢者を支える社会環境を考える
		事後学習	認知・知覚機能が低下している高齢者を支える社会環境について整理する
第 14 回	テーマ「高齢者における機能低下について理解する」 「こころとからだのしくみ」の理解を踏まえて上で、高齢者の機能低下について理解する。	事前学習	高齢者における機能低下について考える
		事後学習	高齢者における機能低下について整理する
第 15 回	テーマ「その他の高齢者における機能低下について理解する」 QOL、価値観、生活習慣を尊重し、機能低下している高齢者の生活を理解する。事例を通して機能が低下している高齢者の介護のあり方を理解する。授業の内容を授業内でミニレポートにまとめ提出する。	事前学習	要介護高齢者等の機能低下を考える
		事後学習	要介護高齢者等の機能低